

分野	23	地域福祉・生活の安定	通番 48
施策	232	生活の安定の確保	
5年後の目標		生活上の不安を抱える市民に対して、充実した相談支援があり、市民の安心と生活の安定につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	福祉なんでも相談事業		会計	款	項	0	社会福祉課
			一般	3	1		
事業の概要							
福祉や生活上の問題を気軽に相談できる福祉なんでも相談室の機能の充実を図り、問題の整理と必要な支援、制度利用のための総合調整・案内を円滑・適切に実施し、市民の総合的な相談に対応します。							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	福祉に関する相談件数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	780	810	840	870	900
		実績	842	788	983	1037	1377
878(平成26年度) ・福祉の総合相談窓口として、福祉専門職の相談員を3名配置しています。 ・生活困窮や就労相談を始め、疾病や障がい、高齢者が抱える問題、ひとり親家庭に関する相談に応じ、各種社会的サービスを案内し、関係機関と連携して支援しています。							

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・新型コロナの影響から生活などへの相談延べ件数は前年度に比べ340件増加し、「福祉なんでも相談室」の存在が周知されています。
課題等	・「生活困窮者対策庁内ネットワーク会議」や「自殺対策庁内ネットワーク会議」、相談業務での連携を通して「福祉なんでも相談室」の役割が庁内関係部署に浸透し始めています。 ・庁内部署との連携ならびに、他の支援機関との連携を強化し支援する必要があります。			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・庁内部署や他の支援機関との連携を強化し、社会的資源が必要な制度の狭間にある人を社会や地域につなげ支援する必要があります。

分野	23	地域福祉・生活の安定	通番 49
施策	232	生活の安定の確保	
5年後の目標		生活上の不安を抱える市民に対して、充実した相談支援があり、市民の安心と生活の安定につながっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市営住宅の計画修繕事業		会計	款	項	目	50,116,600	住宅営繕課
			一般	8	5	1		
事業の概要								
長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づき予防保全的な維持管理及び耐久性の向上や高齢者に対応した住宅改修を実施します。 民間賃貸住宅入居者への家賃補助制度の恒久化や空き家の利活用等について検討します。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づいた改修の実施率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	44.4(平成26年度)	目標	66.6	77.7	88.8	100.0	100.0
		実績	66.6	77.7	88.8	91.6	94.4
<ul style="list-style-type: none"> 市営深田住宅の耐震診断を実施しました。これにより、現存するすべての市営住宅が耐震性を有していることが確認できました。 適切な計画修繕を推進するため、令和3年度から12年度までの10年間の計画期間とする「第2次長岡京市営住宅等長寿命化計画」を策定しました。 市営中開田住宅の解体工事を実施しました。 					市営中開田住宅解体後 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> 市営深田住宅の耐震診断を計画どおりに実施し、耐震性を有していることが確認できました。 関係部局職員から構成される長岡京市営住宅等長寿命化計画策定検討会議を設置し、市営住宅を含む住宅施策について評価を行った上で、令和3年度から12年度までの10年間の計画期間とする「第2次長岡京市営住宅等長寿命化計画」を策定しました。 市営中開田住宅の解体工事を実施しました。 市営中開田住宅の用途廃止を決定しました。 	
	課題等	令和3年度から始まる「第2次長岡京市営住宅等長寿命化計画」によると、令和12年度以降は市営住宅戸数が余の見通しであるため、それまでの間に不足する住居への対応が課題となっています。		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 第2次長岡京市営住宅等長寿命化計画に基づき、計画年度に該当する市営住宅については、施設の長寿命化や住戸内の福祉対応等を図り、改善工事を実施します。 すでに改善工事が終了した市営住宅については、当面の間、維持管理を継続していきます。 市営住宅の不足戸数を補うために、民間賃貸住宅家賃補助制度を継続していきます。